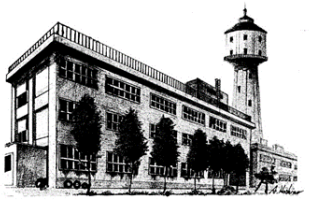
令和４年７月２１日発行

新潟県立長岡聾学校　学校だより

はくちょう



〒940-0093　長岡市水道町 2-1-13　TEL　0258-32-1007

１学期を振り返って～体験を通してつながる～

教頭　三村　陽子

令和４年度の１学期が終了します。振り返れば、今年度の４月は、新潟県の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が 500 人を超える日が続いていました。そんな厳しい状況の中、入学式を始め、学習参観や運動会など、学校行事を行うことができました。また、交流活動や校外学習、現場実習など、体験的な学習も、感染症対策を講じながら実施することができました。これも、学校の感染症拡大防止対策にご理解、ご協力くださった地域や関係機関の皆様、そして、健康観察に継続的に取り組んでくださった、保護者等の皆様のお陰と感謝しております。

5 月 29 日（土）運動会を実施しました。三密回避や飛沫防止対策が定着してきたことを受け、今年度は１日日程で開催しました。当日は、大勢の家族の皆様から参観いただきました。たくさんの応援を受け、子どもたちは自身の力を発揮することができました。当日もそうですが、練習の場面では、学部を超えた交流が見られました。応援や競技のコツを下級生に教える姿や、上級生の動きに感心する下級生の姿が印象的でした。子ども同士のつながり、子どもとご家族のつながりを感じる運動会でした。

6 月 21 日（火）に第１回学校評価委員会を開催しました。３年ぶりに授業参観を行い、学校評価委員の皆様から全学部の活動の様子を見ていただきました。主な感想を紹介します。

- 教師と子どもの表情が印象深く、コミュニケーションがよく取れていた
- 口元が見えるマスクを効果的に使っていた
- タブレットやモニターなど ICT 機器の活用が進んでいる
- ICT の変化に対応していってほしい
- 幼稚部から高等部までが連携し、コミュニケーションが育つ活動をしてほしい
- 一人一人の夢や希望を叶え、発信していく子どもを育ててほしい

また、委員の方から「地域で清掃活動に取り組む生徒のあいさつがとてもよい」とお褒めの言葉をいただきました。子どもたちの元気なあいさつは地域を元気にします。長岡聾学校の子どもたちには、学校のある長岡地域とそれぞれが住む居住地域、どちらにもあいさつの輪を広げてほしいと思います。

行動制限はまだ続きそうですが、夏休みならではの計画を立てているご家庭もあるかと思います。子どもたちが、安全で充実した生活を送れるよう、ご家庭での支援をお願いいたします。そして、２学期一回り大きくなった子どもたちに会えることを楽しみにしております。

各学部の１学期の様子

幼稚部

休校していた高田分校が２年ぶりに新入生を迎えることとなり、再開することができました。４月には、３名のかわいい３歳児が本校、小出分教室、高田分校にそれぞれ１名ずつ入学し、幼稚部は総勢８名の幼児で元気いっぱい過ごしています。子ども同士のかかわりややりとりを大切にする取り組みも３年目を迎え、大人の仲介がなくても、「手（手話）を付けて」「もう１回大きい声で言って」と子どもだけで何とかやりとりして伝え合おうとする姿も見られるようになってきました。

４月には、コロナ禍でずっとできなかった「親子給食」を久しぶりに実施することができ、親子で給食を楽しみました。５月の運動会では、「コロナに負けない」をテーマに所作走やお遊戯とバルーン演技を行いました。バルーンは子どもたちも大好きで「バタ、バタ、バタ」と言いながらバルーンを動かしたり、ドームの中に入って歓声を上げたりしていました。保護者等の皆様から応援旗や応援メッセージカードを作っていただき、子どもたちもとてもうれしそうでした。７月に実施したお店屋さんごっこのジュース屋では、活動を工夫し、紙パックのジュースではなく、店員と「いっぱい入れて」「ミックスにして」とやりとりを楽しみながらコップにジュースを注いでもらっていました。

小学部

今年度の小学部は、笑顔あふれる１８名の子どもたちが学んでいます。専門的で個に応じた丁寧な指導が求められているのと同時に「集団をどのように作っていくか？」ということが、小学部の大きな課題だと考えています。今学期は、児童会活動の取り組みを紹介したいと思います。

まずは、「どんな小学部にしたいか？」と子どもたちに問うと、「遊びをとおして、みんながもっと仲良くなれる小学部！」という答えが返ってきました。そこで、どんな遊びをしたいのかを具体的に話し合い、「全員遊び」と「縦割り班の遊び」という２つの計画を企画しました。全員遊びは１８人が一堂に会するということで、十分距離を保てる体育館で、縦割り班の遊びも密を避けるために３つの会場に分散して行うなど、コロナ禍での対応も話し合いました。さらに、全員遊びは「全員が楽しめる」という条件で、縦割り班の遊びは遊びの幅を広げるために「少人数で楽しめるものを３つ」という条件で相談を重ねました。はじめは自分がやりたい遊びを提案していた子どもたち。しかし、みんなで知恵をしぼり、１年生でも楽しめる内容を次々に考え出しました。「どーんジャンケン」や「ぐらぐらゲーム」「新聞ジャンケン」「ジェンガ」。どれも素晴らしい企画ばかりでした。「きゅうしょくはやくたべれば、た～っぷりあそべるよ！　４・５・６年生より」というチラシの文句も最高です。当日は、各会場とも子どもたちの笑顔と笑い声に包まれました。

中学部

新入生４名を迎え､12 名でスタートしました。

１年生にとっては、教科担任制、50 分授業、教室移動の多さ､制服､部活動…　小学生の時との違いに戸惑うことが多い１学期です。

そんな１年生に早く中学部の生活に慣れてもらおうと、４月には新入生歓迎会、６月には親睦会を行いました。

親睦会は、１年生から３年生の縦割りグループでチェックポイントを巡り、課題をクリアしていく行事です。今年度は、長岡花火・河井継之助・山本五十六について学びながら親睦を深めました。

２，３年生は､役割を考えて指示を出したり積極的に意見を述べたりと、自分で考えて動く姿を見せていました。また、１年生は、指示をよく聞き、任された仕事を熱心にやり遂げ、分からないときには質問するなど、中学部の一員として協力する姿を見せていました。

高等部　産業技術科

産業技術科は、１年生２名、２年生４名、３年生１名の計７名です。今年度は、感染症対策を講じながらコロナ禍前に近い形での学習活動や学校行事、進路学習を行うことができ、充実した１学期でした。

生徒会活動では、スローガンの募集・発表やあいさつ運動など、学校のリーダーとしての活動を行っています。在籍生徒数が少ないなかでも社会性を育むことができるように活動を工夫しています。生徒会活動や学校行事など、学部を超えた関わりがあることが高等部の生徒の成長につながっていると感じています。

また主体的な社会参加を促すために、自立活動や総合学習では自己理解と自己表現、コミュニケーションに関わる活動を多く設定しています。高等部は外部との交流も大切にしており､「自分の気持ちや意見をどのように表現したら相手に伝わるのか」など意見を出し合いながら取り組んでいます。

職場見学

手話ソングを考える

ＳＮＳの使い方

高等部　普通科

今年度の普通科は、１年生３名が入学し、２年生４名、３年生３名の計１０名です。１年生も遠距離通学に慣れ、２・３年生徒とともに毎日の活動に意欲的に取り組んでいます。今回は５月に学年ごとに出掛けた校外学習について紹介します。

１年生は進路学習の一環として、三条市内の福祉事業所を訪問し、説明を聞いたり、実際の作業を体験したりしました。また卒業生の接客で美味しいランチをいただきました。

２年生は長岡市について理解を深めるために、長岡戦災資料館やきおくみらいなどの市内の施設を訪問しました。昼食は長岡市名物の洋風カツ丼を味わいました。

３年生は卒業後に向けて、ハローワーク三条や相談支援センターを訪問し、利用についての説明を受けました。ホテルでのテーブルマナー講習では、コース料理を堪能しました。

それぞれの学年が、学び、楽しみ、充実した１日を過ごすことができました。

デフリンピックに参加して

加賀　充

５月１日～１７日にブラジルでデフリンピックが行われました。私は日本代表デフバレーボール代表として、出場しました。予選リーグは６チーム中４位でしたが、目標であった決勝トーナメントに進出することができました。しかし、決勝トーナメントでは３位のイタリアに負けました。その後、５－８位順位決定戦がありましたが、日本選手団の中に新型コロナ陽性者が増加したため、全日本ろうあ連盟が安全第一ということで、苦渋の全競技中止になりました。途中で終わる形で、残念な結果になりました。

私は３回目のデフリンピックに出場して、世界のろう者と交流することで、貴重な経験をすることができました。ウクライナのろう者は戦争で厳しい状況にもかかわらず、メダルを獲得するために覚悟の上で出場していました。試合に出る度にプレッシャーに負けそうになりましたが、現地のボランティア、または今まで応援してくれる人からのメッセージを思い出しながらプレーすることができました。応援していただき、本当にありがとうございました。